リニューアルした雪舟くんに乗る白神さん

雪舟くんには導入直後から乗り始め、毎回記録をノートに付けています。今までに乗った回数は800回を超えました。
　今回の車両リニューアルで、乗車定員が8人から5人になりました。座席も広くなり、乗り心地満点です。車体の横に描かれたチュッピーのデザインもかわいくて気に入っています。先日初めて新車両を見たときには感激しました。
　車に乗れない私は、どこへ行くにも雪舟くんが頼りです。家の前まで迎えに来てくれて、帰りも家の前まで送ってくれます。買い物や友達の家に行ったりと、活動範囲が広がって毎日が充実するようになりました。また、車の中でほかの利用者の人と打ち解けて、おしゃべりをするのがとても楽しいです。
　雪舟くんが、出会いをたくさん作ってくれました。運転手さんもみんなに分け隔てなく接してくださって感謝しています。雪舟くんなしでは生活できません。これからも利用し続けていきたいです。
（白神麗子さん・清音黒田）

●

日系2世の私がブラジルから総社市に移り住んだのは平成27年7月。親戚に誘われて、すぐに日本語教室に通うようになりました。
　日本語教室では、あいさつや自己紹介、敬語などの日常会話や、ひらがな・カタカナの読み書きの練習をしています。来日してからしばらくは、言葉の壁にぶつかって日常生活で苦労する場面もありましたが、今は日本語を使ってのコミュニケーションがとても楽しいです。
　同じ国出身の人同士だと、会話もつい母国語を使ってしまいます。しかし、それでは日本語が上達しません。日本語教室にはさまざまな国の仲間がいるので、休憩時間もできるだけ日本語を使って話すようにしています。
　ニュースや言い回しなど、分からないことは講師やサポーターに質問して、知識を増やしています。教室での授業だけでなく、病院や防災訓練などに出掛け、実践的な練習ができることも日本語教室の魅力です。今年度の目標はひらがな・カタカナの読み書きを覚えること。6月11日のスタートが待ち遠しいです。
（イデハマ・シゲトミさん）

日本語教室の授業

**そうじゃ特産商品シリーズが当たる**

## 広報クイズ

　今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズに答えてください。
　Q1　住民と福祉のつなぎ役として、地域で幅広い活動を行っている民生委員は、今年で制度創設「●●●周年」。
【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そうじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個をセットで贈ります。いただいた意見などは、担当課から連絡することがあります。
【応募期限】 6月30日㈮　【4月号の答え】 2087
【4月号の当選者】 川上双美さん（宍粟）、村木清美さん（井尻野）
［応募総数14件］
【応募先】 〒719-1192　中央一丁目1番1号　総社市役所市政情報課　✉ shisei@city.soja.okayama.jp

**人口・世帯数（平成29年5月1日現在）**

人口　68,335人（前月比＋98人）
（うち外国人登録1053人　前月比＋14人）
男　33,254人（前月比＋51人）
女　35,081人（前月比＋47人）
世帯数　26,705世帯（前月比＋74世帯）

**市民憲章**

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。
　このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。
1 郷土を大切に
　美しい環境を まもりましょう。
1 生涯学び
　明るい家庭を きずきましょう。
1 たがいに助け合い
　あたたかいまちを つくりましょう。

**市の花・木・鳥**

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ





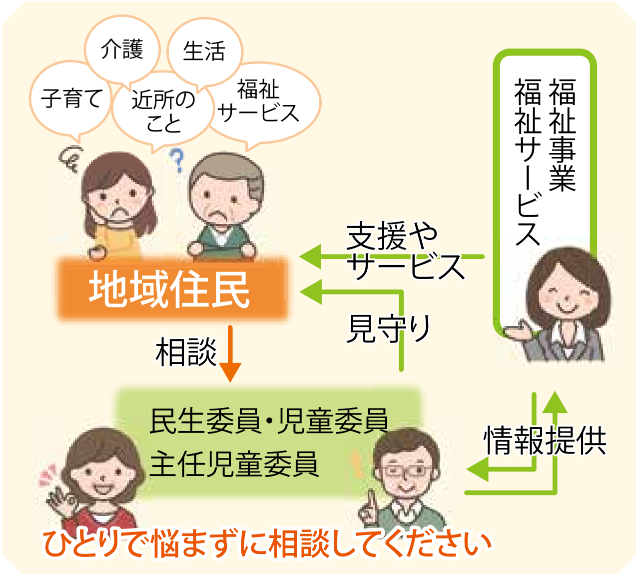
民生委員制度創設100周年シンボルマーク

知っていますか？地域の身近な相談相手

# 民生委員・児童委員

## 民生委員・児童委員と主任児童委員は必要な支援への「つなぎ役」です

　民生委員・児童委員は、担当する地域に暮らす身近な存在として、市民の立場に立って相談に応じています。市内では、厚生労働大臣から委嘱された162人の民生委員・児童委員が、無報酬のボランティアで活動しています。
　民生委員・児童委員のなかでも特に児童福祉のことを専門的に担当しているのが主任児童委員で、子どもの見守りや子育て支援に取り組んでいます。
　民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「済世顧問制度」に始まり、今年で制度創設100周年を迎えます。これからも地域とともに、さまざまな活動を推進していきます。




## 民生委員・児童委員は、こんな活動をしています

### 地域の見守り・声掛け

　市民が事故や犯罪被害に巻き込まれないよう、見守りや声掛け、パトロール活動などを行っています。
　高齢者や障がい者世帯への定期的な訪問、地域の児童や妊産婦への支援などにも取り組んでいます。

高齢者宅を訪問する見守り活動

### 相談、保健・福祉サービスの紹介

　高齢者や障がい者、子育て世帯など、地域住民からの生活上のさまざまな相談に応じ、その内容に応じて行政による支援につないだり、適切な福祉サービスの紹介などを行い、課題解決に協力しています。

地域の実情を調査し、支援につなぐ

### 情報交換や研修会への参加

　月1回開催される地区定例会や、部会などで情報交換を行っています。課題を1人で抱え込むのではなく、民生委員同士で情報交換をしたり、研修会など学習の場を設け、市民に寄り添った課題解決ができるよう努めています。

福祉事業者を交えて情報交換を行う

### 民生委員 児童委員からのメッセージ

安本 美喜男 さん
総社市民生委員児童委員協議会 会長

　民生委員・児童委員は、高齢者・子どもなどの見守りや声掛けをはじめ、地域の行事や会議に積極的に参加協力しています。安全・安心な住み良い地域のため、住民の悩みや課題を把握し、行政や専門家につなぐ重要な役目を担っています。福祉をはじめ、活動は多岐にわたりますが、地域の役に立つことに喜びとやりがいを感じています。「岡山県から始まった民生委員制度創設100周年」という大きな節目を迎え、さらに活動の充実を図っていきます。

### 主任児童委員からのメッセージ

角田 ヒロミ さん
総社市民生委員児童委員協議会 主任児童委員部 部長

　私たちが活動していて一番うれしく感じるのは、子どもに顔を覚えてもらい、お互いにあいさつができることです。学校訪問や学校行事などに参加して子どもの様子を見たり、一緒に行事に参加して交流をしたりしています。地域での見守りを通じ、子ども・学校・家庭のつなぎ役として、困ったことや気になること、楽しいことも気軽に伝えてもらえる関係を築くことを望んでいます。委員一同協力して活動していきますので、今後ともご支援よろしくお願いします。

**問い合わせ**　福祉課福祉総務係（☎㉒8264）